

兵庫縣漁業慣行錄

鹹水漁業之部 卷之十四

兵庫縣漁業慣行録卷之十四 鹹水漁業之部

播磨國赤穂郡 第六百一十號

第一章 漁業之制

第一致 漁業之種類 其禁漁之時期及漁獲物

第一項 漁業之保護 關於此事前經縣令之變更

相生村 本港令其禁漁之時期 六月一日至十一月

漁期 本村港内 鰻魚生育保護 為大天保六年本村吏

海老名馬次郎舊領主へ出願、上弘化二年迄港内字

甲崎ヨリ遠見崎見通シ其以内ハ八月ヨリ寒明キ曆陰

迄漁業ヲ停止セシカ其効空カテ亦實テ以テ更ニ出

願、上同三年ヨリ該季節本港内ニ於テ漁業禁止

ヲ令セリ尚又捕漁ハ片ハ徒士目附並ニ在目附等

出張及且村庄屋年寄役等公者立合濫獲ヲ臨監ス

等ノ保護アリタリ詠禁正ノ制ハ其後繼續シテ今尚
實行ス

漢場 鰯魚保護ノ為メ本村港内八月ヨリ寒明キ曆迄
舊藩主ヨリ諸漢ヲ禁止セシカ今尚實行スルノ前ニ
全シ

坂越村

漢期 本村港内鰯成育保護為メ元和元年頃舊領主

池田輝政姫路城主ヨリ本郡沿海漢村ハ六月ヨリ十二月

迄陰曆港内ニ於テ漢業ヲ禁止セリ爾來舊領主變更野

氏永井氏森氏スト雖氏其禁令ハ繼續シテ維新後ニ

至リ目今尚之ヲ慣行ス

漢場 鰯魚保護ノ為メ本村港内ハ六月ヨリ十二月陰曆

迄舊藩主ヨリ諸漢ヲ禁セシカ今尚實行スルノ前ニ

全シ 第二項 漁税ニ関スル事

相生村

本村港内鰯漢運上トシテ弘化三年ヨリ年々詠收利金

四分ノ一ヲ納メ維新後尚繼續セテ其額ヲ納メテカ明

治八年ヨリ廢税トナレシ

全港内ニ於テ鰯鰯漢運上トシテ年々銀七十七匁五分

ヲ納ム爾後ハ前項ニ全シ

那波村

佐方村 從來漢業ヲ營ミシモ納税セシメテシ年々

坂越村

鰯魚漢運上トシテ元和元年以來明治七年迄年々收穫

金十分ノ一半ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナレシ

但本税ノ外尚収獲金十分ノ一并ヲ本村ニ徴セシカ廢
税以來更ニ之ヲ二分シニ本村益金トシテハ鰯魚座ニ
領収ス

鰯漁業ハ該業者九名ノモノ元録三年頃ヨリ運上ト
シテ年々銀三枚宛十即銀百ニヲ納ノ明治四年銀札一貫
目同五年ヨリ十圓ト改メシカ同八年ヨリ廢税トナリ
爾後村益金ト稱シ該漁者九名ヨリ収獲金百分ノ一ヲ
村方へ出金セシムルノ例トス

坪網雜喉業ハ明治五年ヨリ全七年迄運上トシテ年々
金三圓ヲ納メシカ明治八年ヨリ廢税トナレリ但全八
年ヨリ全十四年迄金三圓ヲ本村ノ村益金ニ収メシカ
全十五年ヨリ十九年迄漁獲ノ厚薄ニヨリ村會ノ評決
ヲ以テ年々金四圓八十錢乃至十圓九十錢五厘ヲ村益

金トシテ納ムルモノトス

尾崎村 上反屋町 加里屋町 折方村

從來漁業ヲ營ミシモ納税セシメナシ

新濱村

明治三年十二月本村小島屋友助ナルモノ鰯網株トシ
テ始メテ鑑札ヲ受ケ御禮金トシテ赤穂銀札一貫目ヲ
納メシノミ其他納税セシメナシ

中村

鰯漁業ハ十鵜繩十慶應二年頃ヨリ運上トシテ年々金三
十圓ヲ納メ来リシカ維新後廢税トナレリ
第三項 其他ニ関スル事

新濱村

維新前迄ハ舊領主遊漁ト為ル本村字唐船塚ノ塩田潮

溜場ニ於テ漁業ヲ禁止セリ現今ハ本村ノ者養魚ヲ試
ミ居レリ又本村字廣海ト稱スル所モ同シク時々漁業
ヲ禁セシトアリタリ

茅二款

規約及慣例

茅一項

保護ニ関スル事

相生村

漁期 鰯魚ハ九月ヨリ翌年三月迄成長ハ暇ヲ與フル

為ノ捕獲ヲ禁シ季節中ハ番船ヲ附ケ置クモ禁トス

是レ舊藩主ノ遺法ヲ慣行セルモノナリ

漁場 本村港内字遠見崎ヨリ甲崎ヲ見通シ以内ハ鰯

魚ノ成長ヲ保護セン為メ九月ヨリ翌年三月迄諸魚

ノ捕獲ヲ停止シ舊藩ノ遺制ナリ又字遠見崎ヨリ甲

崎ヲ見通シ以外字柘立石ヨリ立石

鰯魚小鱸シク千鰯等群来シ又字柘立石ヨリ立石

見通シ以外字桂石ヨリ立石ハ見通シ以内ハ同魚類

ノ捕息スル處ナリ以テ之ヲ妨ガズ漁具ハ使用ヲ

禁止セリ○本村港内字竹ノ浦平岩鬘島砥石濱赤石
 小壺齋鯨壺網漁運上場ト稱シ專漁者ノ制限アリ妄
 リニ他ノ漁夫ニ於テ壺網ヲ使用スルヲ停止ス
 漁法 鰯魚生長保護ノ為メ禁漁期中港内ニ於テ夜陰
 篝火ヲ以テ手長蛸ヲ漁スルヲ禁ス蓋シ鰯魚ハ其光
 明ニ驚キ逃去スルヲ恐レテナリ○鰯地曳大網ヲ使
 用スルニハ其網數ニ應シ豫メ鬘島竹ノ浦平岩砥石
 濱ト漁場ヲ區域シ抽籤ヲ以テ捕漁ノ順番ヲ定メ毎
 日其區域内ニ於テ相互ニ漁業ヲナス尤モ甲者其當
 日休漁スレハ乙者其區域ニ入り漁スルモ妨ケナシ
 但夜漁ハ此順番ヲ要セサルノ例ナリ
 那波村 佐方村
 漁具 鰯魚小鱸海鰻等魚小ナルガ故ニ漁網大サ三

尋羊ニ限り網目ハ四分ヨリ小ナルヲ許サス又鰯魚
 ハ漁網大サ五尋ニ限り網目ハ四分ヨリ小ナルヲ許
 サルノ慣行ナリ
 坂越村
 漁期 鰯魚ハ七月ヨリ翌年一月迄漁業ヲ禁シ其生長
 ノ暇ヲ與フ是レ舊藩ノ遺制ヲ襲行セシモノナリ但
 鰯漁ニ限り十一月迄漁業猶豫ヲ與フノ例ナリ
 漁場 本村港内字鍾崎ヨリ丸山沖迄東西十六町南北
 十八町ノ間ハ鰯ノ生長ヲ保護スル為メ七月ヨリ翌
 年一月迄諸漁ヲ停止ス是レ舊藩ノ遺制ヲ慣行スル
 モノナリ但他ノ漁業ニシテ大ナル妨害トナサレ
 場處ハ特ニ捕漁ヲ許スノ例ナリ
 漁法 鰯網漁ハ本村ニ北名ノ業者アリ漁夫二十五

名ヲ雇役シテ漁業シ此他ニハ營業スルヲ得サルヲ
 慣例トス而メ其漁業ノ片ニ當レハ其網數九疊ニ應
 シタル漁場九ヶ所ヲ分チ抽籤ヲ以テ順番ヲ定メ其
 區域内ニ於テ相互ニ漁業ヲナスナリ當日甲若シ休
 業スレハ乙ハ甲ノ域内ニ漁スルモ妨ケナシ然レモ
 甲漁業セントスルニ際シ乙或ハ丙ノ者甲ノ區域内
 ニ漁シタルトキハ午前六時ヨリ午後十時迄ノ分ハ
 其捕獲物ノ十分ノ四ハ區域主ニ渡スル例ナリ

尾崎村

漁法 地曳小網ハ沖合ニテ魚族ノ群集ヲ目撃セシモ
 フヨリ互ニ網ヲ投ス但シ甲先キニ之ヲ目撃シタル
 ヲ乙之ニ先チ網ヲ入レ捕獲セシキハ其捕獲物ヲ批
 半シテ甲ニ分與スルヲ法トス○延繩ヲ配ルニ他人

ノ延繩ノ上ニ過テ配置ス其時ハ其過矢テ釣只懸リ
 シ魚ハ取り上クル約束ナリ

第二項 漁業ニ関スル事

第一節

相生村

本村港内那波村地先ヨリ南港口字鬘島至ル六十二
 町幅平均十八丁ノ間ハ本村共有ノ地曳網漁場トス但
 鰯魚漁ノ外ハ他郡村ニ般ニ入會トス
 本村地先海面字鬘島并揖西郡室津境字君島水郡坂越
 村境金ヶ鼻以内灣内六十二丁ノ間ハ當村共有ノ地曳
 網漁場ナリ凡氏鰯魚漁ヲ除テ他郡村漁夫ト入會
 稼場ナリ
 本村港内字挂石ヨリ丸崎ハ現通ニ是ヨリ以内ハ港内

長サ四十丁幅平均十八丁ハ鰯魚漁場ニシテ村総代下
 鰯魚株主ト立合村内望ノ者ニ毎年九月ヨリ翌年三月
 迄ノ間入札ヲ以テ捕獲事業ヲ賣渡ス抑該漁業ノ下ハ
 第一章第一款第一項及第二款第一項ニ掲載セシカ如
 ク特別ノ保護ヲ與ヘタルモシテ本村重要ノ海産
 物ナリ依テ弘化二年村吏海老名馬次郎ノ盡カニヨリ
 村内協議ヲ遂ケ一株ヲ銀五百目トシ六十株即千銀三
 十貫目ヲ募集シ舊領主ヘ献納シ鰯魚株鑑札下渡ヲ請
 願セシカ遂ニ翌三年ヨリ之ヲ下渡シ該株主ニ鰯魚ノ
 特權ヲ與ヘタリ之ヲ本村鰯魚ノ濫觴トス而シテ該捕獲
 金ハ之ヲ十分シ其二分五厘ヲ運上トシテ舊領主ヘ納
 ヲ五分ハ株主ニ二分五厘ハ本村協議費ヲ補助ニ分配
 スルノ規約ナリ其後慶應三年ヨリ漁期中港内定額ノ

区域内ノ漁業ヲ入札ヲ以テ村内漁夫望ノ者ニ賣却ス
 ルトナシ而シテ賣却金ハ從前ノ如ク分配セリ明治八
 年ヨリ運上金廢止ニヨリ該賣却金ハ株主ト本村共議
 費補助トニ按半分配スルハ慣行ニシテ落札人期節中
 自由捕獲ノ權ヲ有セリ

那波村 佐方村

本村海岸ヨリ南鬘島ニ至リ東揖西郡岩見村ノ内伊津
 浦ヨリ西本郡坂越村ニ至ルノ間ハ沿海各漁村共有ノ
 地曳網漁場トス

坂越村

本村字九山 尾崎村ヨリ 鎌崎 相生村 追灣内沿海ニ里十
 四丁ノ間ハ鑰坪網漁季實際ニハ該漁專權者望人ト
 ノ商談ニヨリ相當代價ヲ以テ該漁場ヲ賣買スルノ例

ニシテ今ニ慣行セリ以上專漁場ノ外ニ字井ノ濱長崎
 西鯛磯波ノ漁場アリテ專漁者未定ニ處トス明治十五
 年以前ハ本村漁者ノ一般稼場ナリシカ全年ヨリ漁者
 抽籤ヲ以テ村會ニテ定メタル金額ヲ以テ該場ヲ買受
 クルトナセリ而シテ該代金ハ村内ノ共議費ニ充ツ但
 従前ハ尾崎新濱兩村地先キモ本文ノ如ク本村ノ權内
 ニアリシカ雙方紛議ノ為メ結局官ノ裁定ヲ仰ク遂ニ
 該村漁場ニ移レリ一詳細ハ參考書赤穂郡第
 二第参号ニ掲載ス
 鰯魚漁場ハ本村字鎌崎ヨリ字丸山ヲ見通シ以北即チ
 灣内一般トス而シテ八月ヨリ翌年三月迄ハ成育保護ノ
 為メ諸漁ヲ停止スルノ權アリ但シ鰯漁ハ十一月迄ハ
 之ヲ猶豫シ又他ノ漁業ト雖氏妨害トナラサル處ニ於
 テハ捕漁セシムルノ慣例ナリ

鰯漁場ハ本村字鎌崎ヨリ字丸山へ見通シ北北灣内沿
 岸二里十四丁ノ間トス而シテ該魚漁期四月ヨリ七月迄
 ノ間或ハ其他ノ時ニ在テ鰯漁ニ妨害ナラズルヘキ場合
 ハ他ノ諸漁ヲ謝絶スルノ權アリ而シテ他ノ諸漁者ハ之
 ヲ拒ムヲ得サルノ慣例ナリ

尾崎村

本村東坂越村境字丸山ヨリ西新濱村境字大塚ニ至ル
 廿一丁沖手へ八丁ノ間ハ本村地曳網ハ共有漁場ナリ
 然ルニ明治四年頃ヨリ坂越村ト爭論シ未官ノ裁定ヲ
 仰キ該村ト相互ニ期節及ニ漁具ヲ限リテ會漁業スル
 一トナレリ一詳細ハ參考書赤穂郡第
 四第参号ニ掲載ス

新濱村

東本村字大塚ヨリ西本村字唐船ニ至ル三十丁沖手へ

十丁ノ間ハ本村鰯魚專漁場ナリ又大塚ヨリ東尾崎村
字抽水ニ至ルノ間ハ尾崎村ト入會漁場トス

中村

東加古郡二見村ヨリ西備前國児島郡日比村南讃岐國
小豆島ニ至ルノ間ハ談沿海谷漁村三十八ヶ町村ノ入
會漁場トス又尚漁業ノ時宜ニヨリ安藝國宮崎讃岐國
シヤミ島土ノ戸阿波國徳島アルコ村鳴戸淡路海ニ於
テ入會漁業ス以上廣狹東西凡二十六里南北凡七里十
リ

赤穂上夜屋所 全加里屋町

東揖西郡室津港ヨリ西備前國片止村南讃岐國小豆島
ニ至ルノ間ハ談沿海各漁村十二ヶ村入會漁場トス
折方村

本村地先ヒ夕島ヨリ南取揚島ニ至ル一里三十二丁東

西凡二十丁ノ間ハ各漁村入會漁場トス

第一節 仲間加入ノ仕来

尾崎村

本村内ノ者新ニ漁業ヲ営マシムルハ先ツ漁者ノ
兼諾ヲ得テ後テ管轄廳ニ出願シ其許可を得タルニテ
ラカレハ之ヲ許サシムルハ慣行ナリ

新濱村

本村内ノ者新ニ漁業ヲ営マシムルハ漁者及ヒ出
買高就小舟ニ乗リ毎朝未明ニ販賣スルモ船ニ魚仲
買入一統ニ對シ仲間入りト稱シ酒肴ヲ以テ饗應スル

中村

本村ハ...

本村内ノ者新ニ漁業ヲ営マントスル片ハ全業中申合
セ仲間入ト稱シ金一圓五拾錢及酒五升ヲ出サシムル
ノ例ナリ

第三節

他方ハ漁夫来漁ニ係ル手續

相生村

備前國日生村漁者本村港内へ来漁スルトアリ然ルニ
港内ハ元来入會漁場ナルヲ以テ鰯魚保護ノ為ノ禁漁
セシ季節中ナルモ特別ノ慣行ニヨリ其漁業スルト九
月ヨリ十二月迄ニ在ル片ハ該村漁者ヨリ収獲シ羊又
一月ヨリ三月迄ニ在ル片ハ其八分ヲ本人落札人落札
ハ第一節詳記スニ分配セシムルノ例ナリ

坂越村

鰯魚漁季中他村ノ漁者本村内漁場ニ入漁スル片ハ捕

獲物十分ノ三ヲ其漁者ニ與ハ殘ル七ヲ本村ニ收メ鰯

網組合五十名ニ分配ス

尾崎村

坂越村ノ漁夫本村漁場ニ入漁セントスル片ハ其村戸
長ハ添書ヲ得テ期限ヲ定テ本村役場へ出願認許ハ上
漁業セシメ而シテ其捕獲物十分ノ二ヲ本村漁者ニ分配
セシムルノ例ナリ其他本郡相生村及ヒ備前國日生村
等ヨリ来漁セル片ハ手續モ亦全シ

相生村

捕漁セシ魚介ハ直ニ本村内市場ニ運搬シ問屋ニ於テ
之ヲ競賣ス代金ハ即時問屋ヨリ受取ル問屋口錢ハ一
割ニ歩出ス又本村ノ老人ニ於テ出買ト稱シ沖合ニテ

自他各別ナク漁船ニ就キ其捕獲セシ魚介ヲ買ヒ取り
 本村市場ニ賣却スルヲ以問屋口銭ハ一割ニ歩五厘ト
 ス本村漁者ニシテ右出買商ニ賣却スルモノハ捕獲高
 ノ二分ニ過キス概子漁夫申合セ聯合シテ別船ヲ仕立
 本村市場ニ送附スル例ナリ然リト雖氏魚秋四五月
 大漁ノ節ハ他ノ市場ニ送附スルナリ然レ氏凡ソ捕
 獲総高三分ニ過キサルヘシ
 本村漁夫ニシテ本村市場ニ賣ラス相對ヲ以テ魚商ニ
 直賣スルナリ方言之ヲ勘九郎賣買ト云フ是レハ元
 ト魚商市場ニテ買入需用者ニ賣付毎月十五日三十日
 兩期ニ問屋ニ勘定スルノ慣行ナリシモ若シ其期日ニ
 勘定スル能ハサル片ハ市場ニテ魚介ヲ買入ル、ナリ
 得ナル例ナリ此勘定ヲ採為不能ハサ該商人漁者ト申

合セ直賣買スルナリ往々アリ之ヲ勘九郎賣買ト謂フ然

ルニ明治十九年一月中旬問屋下漁者ト其慣行ヲ除カン
 カ為メニ若シ漁夫ニシテ勘九郎賣買ヲナスモノハ再ヒ
 市場ニ出魚スルヲ停止シ又問屋ヨリ毎年一月酒料ト
 シテ金三十圓ヲ漁夫中ニ遣ス他日此約ヲ犯ス片ハ本
 村ニテ自由ニ賣却スルナリ得ナル約定ヲナセリ自今
 勘九郎賣買全ク廢セリ

那波村 佐方村
 捕漁セシ魚介類ハ商人又ハ需用者ニ販賣シ即金ヲ以
 テ取引ス但白藻ノ如キ干物ニ乾シ薄切筒状ニ製セシ
 ヲ以テ商人ニ販賣スルモノトス

坂越村
 捕漁セシ諸魚ハ直ニ本村生魚定市場ニ運輸ス問屋口

錢ハ一割二分トス又出買商販賣ハ僅カニ捕獲総高ハ
九二分ニ過キス皆即金ノ取引トス

尾崎村

捕澳セシ魚ハ坂越新濱赤穂加里屋及飾東郡飾磨等ノ
市場へ運輸ス就中飾磨ニ輸出スルノ多シ問屋口錢ハ
一割半トス又干魚類ハ大坂及備前岡山ニ運輸ス問屋
口錢ハ一割ナリ又出買商へ賣却スルノアリ但捕獲総
高ノ三分許ニ過キス何レモ即金ノ取引トス

新濱村

捕澳セシ魚ハ多クハ直チニ本村市場へ運輸シ即金ヲ
以テ取引ス問屋口錢ハ一割ナリ外ニ河堀金場漁船碇泊
場所所用
費六厘一圓ニ
付六厘ヲ徴收ス又鰯魚生魚ハ直チニ小賣人
ニ賣渡シ又煮乾等トナセシ者ハ坂越村商入ニ販賣ス

ルノ例ナリ

中村

赤穂夜屋町 全加里屋町
捕澳セシ魚ハ直チニ本村及加里屋町ノ市場へ運輸ス
問屋口錢ハ一割ナリ又出買商賣却ハ捕獲総額ハ九十
分中一ニ過キス皆即金ヲ取引ナリ

折方村

捕澳セシ魚ハ出買商へ即金ニテ賣却シ或ハ直チニ家
族ヲシテ小賣セシム此場合ニハ即金或ハ一月ニケ
月ニ延金ヲ以テ取引スルハ例ナリ

第五節

澳維持並救恤

澳船若海中ニ於テ颶風等ハ難ニ罹ル時之ヲ認ムル者ア
ラハ直ニ危嶮ヲ冒シ之ヲ救援スルノ例ナリ但中村赤穂
上夜屋町全加里屋町ハ如キハ被難者へ見舞ト稱シ白米

一斗ツ、ヲ遣スノ例アリ、
茅三項、雜事、

相生村

祝ヒ 鰯鯖漁ハ漁網一疊、宗四五十人、漁夫ヲ使役ス
其出漁セントスル前日ハ午後ヨリ門入揃ヒ、且夫
ト稱シ、漁夫ハ何レモ紅染手拭ハ鉢巻ヲナシ、紅染ノ
犢鼻褌ヲ穿テ、談網船ニ艘ヲ以テ本村港内、衆出シ
凡五町許リノ間ヲ圓形ニ漕キ廻リテ、談漁業ノ式ヲ
為ス式終リ初メ出船セシ波戸場ニ歸リ船ヲ繫クヤ
否ヤ、漁者二人上陸シ網持主ノ家ニ馳テ付ク網主ハ
祝トメ五弁入ノ酒ニ樽ヲ、漁者ニ與テ、漁者ハ船中ニ
持テ歸リテ之ヲ飲ミ各歡ヲ盡ス又網主ニハ親戚朋
友ヲ招キ大ニ祝宴ヲ設クルヲ例トス、
○漁業終リ、漁

夫歸村カ片ハ、漁不漁ニ拘ハテス網主ハ美酒佳肴ヲ

談船ニ送リテ其勞ヲ慰ス此際ニハ談漁夫ノ婦女子
ハ其船迄之ヲ出迎テ、漁夫ハ米五合程ヲ煮タル許リ
ハ大立ハ握リ飯ヲ造リ、一個ツ、其婦女子ニ與テ
此例ナリ、其際ハ雜沓ハ實ニ名状ス、カウサル程
ナリ、○鰯鯖鰯等大漁ハ片ハ祝ヒトシテ網主ヨリ其
漁夫ニ紅染手拭腹巻或ハ浴衣等ハ揃テ下シテ之ヲ
與テ下ナリ、

坂越村

祝ヒ、下鰯鰯網出漁セシトスル其手配リ全ク終ル
夫網卸ロシト稱ヘ家族並ニ雇夫共ニ集リ祝宴ヲ張
ルコナリ又鰯大漁ノ時ハ揃ヒ、紅染手拭又鰯魚大
漁ノ片ハ、緋形付木綿縹緋及揃ヒ、手拭ヲ雇夫手間

取等ニ給與シ又其漁獲ノ鰯魚ヲ村内一般ニ分配シテ之ヲ祝ス

雇夫給食 鰯網漁ハ時宜ニ依リ雇夫ニ握リ飯ヲ與フルヲアリ飯ノ添ハ菜漬トス茶ハ一切給セス湯又ハ

水ヲ以テ之ニ代フ ○ 鱒網漁雇夫ニ食事ヲ給スルニハ朝五時昼十時晚四時ノ三度トス飯ノ添ハ菜漬或

ハ小雜魚ニシテ醬油塩或ハ味噌ヲ以テ調理ス茶ハ一切之ヲ給セス湯又ハ水ヲ以テ之ニ代フ

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル所ノ神ハ蛭子神ニシテ鰯魚漁組ハ字本町ニ鰯漁及鱒漁組ハ字小島ノ海岸ニ

談社ヲ設置セリ鰯鱒漁組ハ網卸シ及大漁ノ片ハ組中重立ツモノ兩三名適宜ニ神酒ヲ供シ又鰯魚漁組

ハヲハセト稱ハ網ヲ縫立ツル片並ニ敷網ヲ海底ヘ入レ捕獲スル道ノ間ハ毎夜社前ニ燈明ヲ供シテ大

漁ヲ祝ル ○ 鯨獸来ル片ハ鰯大漁ノ兆トナシ之ヲ祝セシトアリシカ近年ハ絶テ此事ナクシ ○ 漁戸ニ妊

婦アリテ臨月ニ至レハ他家ニ寄留セシメ或ハ漁夫自ラ避ケテ共ニ食セス又雇夫中ニ産婦アル片ハ

産忌ト稱シ一週間之ヲ役セサルヲ例置ク若シ之ヲ犯シタル片ハ忽チ網ヲ破ル等ノ凶事アリト信ス ○

漁業中沖合ニ於テ誤テ支物ヲ海中ニ落ス等ハ下ハ最モ忌ムル習ナリ

尾崎村 出漁セントスル片祝宴ヲ張ル下坂越村ニ全シ

又雇夫人數揃フヲ願揃ヒト云ヒ業終リ雇夫ヲ解散セシムルヲ願分トト云共ニ素麵饅頭酒等ヲ以テ之

ヲ饗應スルナリ○漁獲ノ收利其資金ヲ償却シ尚
 ホ純益アルキハ祝ヒ^ハ稱シ幟ヲ立テ資金^{十圓}ヲ要
 個^ハ幟^ノ乳^十個^五百^圓ヲ大^十小^十ヲ表^ハス^五漁者^六同^ヲ集^メ共
 ニ祝宴ヲ張ル
 雇夫給食 雇夫ニ食事ヲ給スルハ朝七時昼十二時及
 午後五時ノ三回トス尚漁業ノ都合ニヨリ臨時ニ握
 飯ヲ與フルナリ而シテ此際ニハ擊柝ヲ以テ合圖
 ヲナシテ雇夫ヲ集メ船頭以下順次ニ座列シ喫食セ
 シム飯ノ添其調理料及ヒ飲料ハ坂越村ニ全シ
 祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル所ノ神ハ戎神トス又鯨入
 ヲ戒ト唱ヘ甚夕之ヲ敬信ス蓋シ鰯魚ノ大漁ハ鯨魚
 ノ賜ナリト信スルニヨル○油ヲ覆スナハ家ノ内ト
 雖氏之ヲ忌ム蓋シ魚油ヲ投スナハ魚之ヲ厭フテ遠

洋ニ去ルト信スルニヨル

雜件 毎月十六日^陰休業シ漁事ノ勞ヲ慰ス

新濱村

祝ヒ 鰯網出漁セントスルキ祝宴ヲ張ル坂越村ニ
 全シ又其大漁ノキハ之ヲ祝シ雇夫一統ヘ揃ヒノ手
 拭又ハ犢鼻禪等ヲ給シタルナリ
 雇夫給食 雇夫ニ食事ヲ給スルハ朝六時昼十二時夕
 六時ノ三回トス飯ノ添ニハ捕漁セシ鰯魚及雜魚等
 ヲ以スル^ハ漁業^ノ集會^ニヨリ^テ給^スル^{ナリ}
 祭祀禁忌 漁夫ハ毎月十六日^兩日^為真宗禪師ノ
 忌日ニ當ルヲ以テ十五日正午ヨリ十六日正午迄ハ
 一般漁業ヲ休メリ但シ數年前迄ハ十六日^兩日^為禪師ノ
 忌ナリシモ近年之レヲ改正セリ

中村

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル所ノ神公其數三就中最ニ
 歸依スルモノハ蛭子神ニシテ漢村至北下ヨリ此社
 アラサルハナシ毎年九月十七日曆陰ハ談社ノ祭前十
 ルニヨリ漁者一統休業集會シテ之ヲ祭り且ツ漁業
 上ノ事項ヲ談話スルニシテ其ノ趣ニハ
 雜件ノ毎月十五日ヲ殺生日ト稱ヘ休業スルノ結約ナ
 リ

赤穂上夜屋所 全加里屋所

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル所ノ神及祭祀之日中
 村ニ全シ

折方村 漁夫ニ産婦アヒ下キハ産忌ト稱シ十日間
 祭祀禁忌

休漁スルノ例トス蓋シ此際産婦ニ接スルハ其身

穢ルヲ以テ出漁ニ際シ海神ノ怒ニ觸レ厄難ニ罹
 ルト信スルニヨリ然ル点凡近年ニ至リ此迷信漸次
 消滅ノ景況ナリ

明治ノ初年甲本村ニ見
 事ニ至リ然ルニ至
 事ニ至リ然ルニ至
 事ニ至リ然ルニ至
 事ニ至リ然ルニ至

大寒ノ期節中本村港内鰯魚保護ノ為ノ漁業ヲ禁シ且
 毎夜番船五艘ヲ浮ベテ盗漁等ヲ警戒ス舊藩時代ニハ
 盗漁ノ為ノ諛漁場ニ侵来スルモノアリ此郡奉行所
 へ拘引シ三十日間許リ入檻セシメ又捕獲ノ際漁夫ニ
 混シ窃ニ盗魚スルモノアル時ハ凡三十日間手錠ヲ付
 スル等ノ懲罰アリタリ。明治十七年中本村鰯魚株所
 得益金ハ其慣行ヲ革然テ悉ク村内ニ分配セシメ企
 三發起者九ツルモノアリシモ事遂ニ成ラズ然ルニ發起
 者ハ之ヲ憤リ鰯魚禁漁場區域中へ網ヲ投テ其漁業ヲ
 妨害セシメテアリシカ警官ニ拘引セテ然違警罪ニ處セ
 ラレシメアリ

第三款

犯則違例ノ處分

相生村

相生村ノ漁業ノ保護ノ為ニ本村港内鰯魚株所
 大寒ノ期節中本村港内鰯魚保護ノ為ノ漁業ヲ禁シ且
 毎夜番船五艘ヲ浮ベテ盗漁等ヲ警戒ス舊藩時代ニハ
 盗漁ノ為ノ諛漁場ニ侵来スルモノアリ此郡奉行所
 へ拘引シ三十日間許リ入檻セシメ又捕獲ノ際漁夫ニ
 混シ窃ニ盗魚スルモノアル時ハ凡三十日間手錠ヲ付
 スル等ノ懲罰アリタリ。明治十七年中本村鰯魚株所
 得益金ハ其慣行ヲ革然テ悉ク村内ニ分配セシメ企
 三發起者九ツルモノアリシモ事遂ニ成ラズ然ルニ發起
 者ハ之ヲ憤リ鰯魚禁漁場區域中へ網ヲ投テ其漁業ヲ
 妨害セシメテアリシカ警官ニ拘引セテ然違警罪ニ處セ
 ラレシメアリ

坂越村

舊藩時代鰯魚漁期中禁漁場ニ於テ磯採撈（抄）ヲ採ト稱
 スル漁具ヲ使用シ妨害最モ甚クシテ片々領主へ訴出
 テ入搵及其他ノ處分ヲナシ又其害輕キモノハ船網等
 ヲ陸ニ引揚ケ預リ置ク然レモ仲裁人立入り申ハ謝罪書
 ヲ取り之ヲ放免ス又組合中ニ於テ之ヲ犯シタル片ハ
 一株ノ内三分或ハ五分ヲ消除ス然レモ一兩年ニシテ
 仲裁人立入り改心ノ体ヲ見ハシタル片ハ復舊セシメ
 夕（現）今ニ於テハ害ノ大小ニヨリ二十錢乃至一圓許
 ノ償金ヲ出サシム
 尾崎村
 坂越村及相生村ノ漁者ニシテ本村漁場ニ來漁セント
 スル片ハ入漁ノ手續（第一章 節 第三章 節 第四章 節）ニテ履行セサル片

中村

ハ後來ハ入漁ヲ停止スルヲ例トス
 毎月十五日休漁スルノ約束ニ違背シ漁業セシ片ハ違
 約料トシテ其漁獲物ハ同業者へ徴収スルノ慣例ナリ

第二章

第一款

種類

第一項

品名

郡内産出ノ

水産物品

名左ノ如ク

鰯

烏賊

石鰈

飯章魚

鰯魚

花魚

沙魚

鱧

鰻

蛤

文魚

花魚

辛螺

鰯

ホウズ貝

紅烏賊

文魚

花魚

雞子魚

十比蝦

鳥貝

大口鰈

文魚

花魚

海鰯

鱸魚

大章魚

大口鰈

文魚

花魚

蟹

増蚌

方頭魚

力夕鰈

文魚

花魚

鮎

牡蠣

野

剥皮

文魚

花魚

カケウラ

鯛

鯛

鯛

鯛

花魚

海鼠

梅鉢

鰻

鯛

鯛

花魚

魚類

黒鯛
真鳥賊

黒蝦
真貝

車蝦
真章魚

真鳥賊
真貝

真鳥賊
真貝

真鳥賊
真貝

鱈
鱈

手長章魚

赤女魚

海鰻鱺

神戶鱈

赤沙魚

赤鱈
アコウ鯨

苗蝦
赤貝

アコウ鯨

アコウ鯨

アコウ鯨

赤沙魚

青箭魚
メハチ鯨

雑喉
目高鯨

ガス
ノイホ

水鳥賊

鋸魚

白藻

牛舌魚
藻蝦

小鱸
蝦姑

船頭鳥賊

白沙魚

地目魚

餅貝

第二項

大小輕重

鰯

字化後廿日ヲ經過シ凡一寸トナル此量凡三分之ヲ白

子或空平子ト云フ其後腸ヲ生シ背ヲ青色ニ染セ長

凡二三寸ヨリ四五寸ニ及テ此量凡二匁五分ノヲ真鰯

又ハ大鰯ト云フ新濱村調

烏賊

六月頃字化シ翌年四月ニ至ル凡四五寸トナル此量七

八十目アリ佳味ノ時ニシテ多獲ノ件ナリ相生村調

石鰈

字化後三十日ヲ經過スレハ太サ八分ニ至リテ六寸

此量凡トナル是ヲ最モ佳味ニシ又普通多キモノトス

坂越ヨリ調

飯章魚

字化後三十日ヲ經過スレハ太サ一寸トナル一年ニ至

レハ五寸此量凡八匁トナル是ヲ最モ佳味ニシトス然

鰯魚

レ此普通多キハ大カ五寸ハモノ岸ノ
毎年寒明ヨリ四十日間ニ孕化シ翌年寒明迄ニ成長ス
平均大カ六七寸此量四二年ニシテ一尺トナル此量百
目之ヲ小鰯ト云フ三年以上ニシテ一尺六七寸トナル
此量二百之ヲ総名鰯ト云フ捕獲ノ最モ多キハ六七寸
ノモノトスヨ相ル以下調査シ

沙魚

四五月頃孕化シ爾後十一月十二月頃ニ至リ大カ四五
寸トナル此量五六匁アリ之ヲ最モ多渾且ツ佳味ノモ
ノトス

鰾

孕化後二年ニ至レハ大カ一尺此量九トナル之ヲヤス

花魚

孕化後百五十日ヲ經過シ四寸此量九トナリ當歳ノモ
ヲラ小不辛也方ノ二年ニシテ一尺此量九トナル梶崎
三寸方モ以テナリ

ハウツ貝

外面黒色ニシテ全面ニ黒キ横線アリ
紅烏賊

孕化後

三十日ヲ經過スルニ至リ大カ五分
一寸五分下ナル之ヲ最モ佳味ニシテ普通多キモ

下調査

ニシテ全量ニ至リ大カ五分
下調査ニシテ全量ニ至リ大カ五分
下調査ニシテ全量ニ至リ大カ五分

文鯨魚

字化後三十日ヲ經過スレハ二寸トナリ一年ニシテ六寸此量取トナル之ヲ最モ佳味ノモノトス普通多キハ六寸ノモノナリ

鳥貝

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ大豆ノ如シ一年ニシテ經一寸三年ニシテ三寸此量取トナル之ヲ最モ佳味ニシテ且普通多キモノトス

ト、口鯨

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ五分トナリ一年ニシテ三寸三年ニシテ五寸此量取トナル之ヲ最モ佳味ノ時トス普通多キハ大サ五分ノモノトス

海鯨

字化後三十日ヲ經過スレハ二寸五分トナリ百目

レハ三寸トナル之ヲセシゴト云ヌ一年ニシテ四寸トナル之ヲ二歳午又ト云フ此量取二年ニシテ六寸此量取トナル之ヲ午又ト云フ三年ニシテ八寸此量取四年

ニシテ一尺トナル之ヲ最モ佳味ノモノトス普通多キハ大サ四寸ノモノナリ此量取一年ニシテ六寸此量取二年ニシテ八寸此量取三年ニシテ一尺此量取トナル之ヲ最モ

佳味ノモノトス普通多キハ大サ五寸ノモノナリ此量取一年ニシテ七寸此量取トナル之ヲ最モ

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ一寸トナリ一年ニシテ三寸此量取三年ニシテ七寸此量取トナル之ヲ最モ

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ一寸トナリ一年ニシテ三寸此量取三年ニシテ七寸此量取トナル之ヲ最モ

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ一寸トナリ一年ニシテ三寸此量取三年ニシテ七寸此量取トナル之ヲ最モ

佳味不毛、此ハス普通多キハ大カ三寸ノモ、ナリ

鯽魚 此魚 三寸ヨリ 經過スレハ 三寸トナル之ヲカマヌゴ

鯽魚 化後 三十日ヲ經過スレハ 三寸トナル之ヲ最モ佳味ノ

味 亦本ノ二年ニシテ 四尺 此量 四トナル之ヲ最モ佳味ノ

味 時長ク 亦本ノ二年ニシテ 四尺 此量 四トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 此魚 三寸ヨリ 經過スレハ 三寸トナル之ヲ最モ佳味ノ

入 鯽魚 化後 三十日ヲ經過スレハ 大カ五分 一年ニシテ 二寸

ニ 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ニ

ノ 且普通多キモノトス 文 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ニ

剥皮 此魚 三寸ヨリ 經過スレハ 三寸トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 三十日ヲ經過スレハ 三寸トナル之ヲ最モ佳味ノ

シテモ 寸 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ 時トス 普通多

鯽魚 此魚 三寸ヨリ 經過スレハ 三寸トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 三十日ヲ經過スレハ 三寸トナル之ヲ最モ佳味ノ

刀魚 此魚 三寸ヨリ 經過スレハ 三寸トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

鯽魚 化後 二年ニシテ 三尺 此量 九トナル之ヲ最モ佳味ノ

秋野以普通多キハ孚化後三十日目ノ毛ノナリ

海鼠ハク外ハク三十日ヲ經過スレハ大カ五分一年ニシテ四寸

孚化後三十日ヲ經過スレハ大カ五分一年ニシテ四寸

八此量量凡目トナル是レヲ最モ佳味ニシテ普通多キモノト

不坂坂越越以以村村調調査査生生村村調調

ウメメハハ半半蘇蘇一一又又三三寸寸

鯉 六月項孚化シ一年ヲ經過スレハ二三十目トナル七八

月項ヲ最モ佳味ノ片トス相相生生村村調調

黑沙魚 孚化後三十日ヲ經過スレハ大カ一寸一年ニシテ四寸

此量凡トナル最モ佳味ノ時トス然レモ普通多キハ一

寸ノ毛トス坂坂越越以以村村調調査査生生村村調調

鯨 孚化後一年ニシテ大カ三寸此量凡トナル之ヲシラグ

チ小小六六寸寸二年ニシテ六寸此量凡トナル是レ即チ鯨ニ

シテ最モ佳味アリ且普通多キモノトス

黑蝦 六月項孚化ス十月項ニ至レハ一二寸トナル之ヲ佳味

ノトキトス相相生生村村調調

ヤケ烏賊真真烏烏賊 孚化後三十日ヲ經過スレハ大カ蚕豆ノ如シ六月ニ

シテ二寸此量凡一年ニシテ五寸此量凡アアリ之之ヲ最モ

佳味ニシテ且普通多キモノトス坂坂越越以以村村調調

真貝深深水水中中ニニ生生ルル

真貝深深水水中中ニニ生生ルル

真貝深深水水中中ニニ生生ルル

真貝深深水水中中ニニ生生ルル

真貝深深水水中中ニニ生生ルル

其形栗ノ如ク体面滑カニシテ種々ノ模様アリ調那波ニ村

猿類ニシテ普通ニシテ一年ニシテ

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ小豆ノ如ク一年ニシテ

テ徑八分三年ニシテ一寸五分ニシテ此量凡トナル是ヲ最モ

佳味ニメ又普通多キトキトス坂越ヨル調

字化後一年ヲ經過スレハ大サ五寸六寸目三年ニシテ

大サ六尺三寸此量凡トナル之ヲ最モ佳味ノ時トス坂越

以村全査ニヨル此量凡トナル之ヲ

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ二寸百日ニシテ四寸

フ二年ニシテ六寸此量凡トナル之ヲ

シテ七寸五寸目トナル佳味ナルハ五寸モノニシテ普

通多キハ四寸ノモノトス

字化後一年ニ至レハ大サ五寸此量五二年ニシテ凡ハ

寸此量ハ三年ニシテ一尺五寸此量百トナル之ヲ最モ

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

調那波ニ村

手長章魚

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ二寸一年ニシテ一尺
ニ此量凡トナル之ヲ最モ佳味ノ時トス普通多キハ二寸
ノモノナリ

赤女魚

字化後二年目ニ凡一尺トナル此量凡百之ヲアカソト
云ヒ其後三年ニシテ凡一尺三四寸ニ此量凡トナル之ヲ
不ソト云ヒ四五年以上ヲ經過シ長サ凡三尺有餘此量
貫ニ至ルヲシク午ト云フ新濱ヨリ調

海鰻

三月頃字化シ一ケ年ヲ經過スレハ其量二三十目ニ至
ル相生ヨリ調

蜘蛛

字化後三十日ヲ經過スレハ其大サ小豆ノ如シ一年ニ
シテ徑八分一此量凡トナル是ヲ最モ佳味ノトキトス然
レモ普通多キハ字化後三十日頃ニアリ坂越村調査ニ

赤貝

字化後三十日ヲ經過スレハ其大サ大豆ノ如シ三年ニ
シテ徑四寸此量凡トナル

鱈

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ五分一年ニシテ三寸
三此量凡三年ニシテ六寸此量凡トナル之ヲ最モ佳味ノ
時トス普通多キハ三寸ノモノナリ

苗蝦

字化後三十日ヲ經過スレハ大サ二分六ケ月ニシテ五
分トナル之ヲ最モ佳味ニメ且普通多キモノトス

アマテ鰈

石鰈ニ全シ

アブラノ鰈

ト、口鰈ニ全シ

赤沙魚

黒沙魚ニ全シ

アコウ鰈

孚化後三十日ヲ經過スレハ大サ五分一年ニシテ五寸

此量ハ三年ニシテ八寸此量凡百トナル之ヲ最モ佳味

ノ時トス而シテ普通多キハ大サ五分ノモトトス

鱈

孚化後三十日ヲ經過ス大サ三寸ニ至ル之ヲ鱈子ト云

フ一年ヲ經レハカゴセト云ヒ其大サ一尺二三寸此量

目二年ニシテ九二尺二三寸此量凡三年ニシテ三尺ニ

三寸此量一貫目乃至二及フ之ヲ鱈ト云フ其大小ニ抱

ハラス十一月ヲ佳味ノ時トス

鯖

孚化後三十日ヲ經過スレハ夏ノエ大サ二寸夏至ニ至

レハ七寸此量凡一年ニシテ九寸六寸此量凡トナル最モ佳

味ナルハ七寸ノ時ナリ

鱧

孚化後大サ一寸一年ニ至レハ五寸此量三年ニシテ八

寸此量凡トナル是最モ佳味ノ時ニシテ普通多キハ大

サ五寸ノモトトス

キ鱈

孚化後三十日ヲ經過スレハ大サ五分トナル一年ニシ

テニ寸三年ニシテ此量凡トナル是最モ佳味ノ時ニシテ普通多キハ大廿五分ノモノトス

鱒殘魚

孝化後三十日ヲ經過スレハ一寸トナル之ヲキスゴト云フ二年ニシテ五寸此量凡トナル之ヲゴズト云フ是ヲ最モ佳味ノ時トス

鮎

孝化後三十日ヲ經過スレハ一寸トナル此量其當歲ハ大サ三寸此量ニ之ヲイタケト云フ二年ニシテ一尺此量ニ及ブモノアリ此時ヲ佳味ノ時トス中村調査

水鳥賊

孝化後三十日ヲ經過スレハ大サ一寸一年ニシテ七寸此量ハ二年ニシテ一尺此量凡百トナル普通多キハ四寸ノモノニシテ又最モ佳味ノ時トス坂越村調査

牛舌魚

孝化後三十日ヲ經過スレハ大サ二寸一年ニシテ四寸此量凡三年ニシテ八寸此量凡トナル之ヲ最モ佳味ノ時トス而シテ普通多キハ八寸ノモノナリ坂越村以下

蝦姑

孝化後三十日ヲ經過スレハ大サ五分六ヶ月ニシテ三寸此量凡一ケ年ニシテ五寸此量凡トナル普通多キハ五分ノモノナリ

白沙魚

黑沙魚ニ全シ

比目魚

孝化後二年ニ至レハ大サ一尺此量凡六十目トナル之ヲ大ク
 寸三年ニシテ二尺五寸此量凡トナル之ヲト云
 フ是ヲ最モ佳味ノ時トス而シテ普通多キハ二尺ノモ
 ノトス

飩貝

其形丸飩ノ如ク其色甚夕白ク全面ニ白キ横線アリ
村ヨリ査

藻蝦

孝化後三十日ヲ經過スレハ大サ三分一年ニシテ八分
 トナル之ヲ最モ佳味ニシテ且ツ普通多キモノトス
村以下全ヨ

船頭鳥賊

孝化後三十日ヲ經過スレハ大サ五分トナル六月ニ
 シテ五寸此量凡一年ニシテ一尺此量凡トナル佳味ナ
 ルハ五寸又普通多キハ一尺ノモノトス

鱸

孝化後百五十日ヲ経テ長サ五寸此量三トナル而メ當
 歳ノモノヲセイゴト云フ二年ニシテ七寸此量六トナ
 ル之ヲハネト云フ三年ニシテ一尺一寸此量凡トナ
 ル之ヲミナグロト云フ四年ニシテ二尺八寸此量凡ト
 ナル之ヲ鱸ト云フ尾崎村調

第二致

漁期

第一項 期節

捕魚採藻ノ期節左ノ如シ

品名		鰯	烏賊	鰻魚	八不	沙魚	鯉	鮫	蛤
相生村	期節	自五月至六月		自二月至三月	周年七月	自青至青	自青至青	十月至十月	
那波村	期節			自六月至七月					
坂越村	期節	自五月至六月	自五月至六月	自八月至九月					
尾崎村	期節	自五月至七月		自八月至九月					
新濱村	期節	自五月至七月		自八月至十月					
中村	期節	自六月至七月	自七月至七月			自青至青	自青至青	自青至青	
赤穂屋町	期節			自十月至十月					
折方村	期節			自九月至九月	自青至青				

系

鱸	船頭鳥賊	小鱸	比目魚	白藻	鰒魚	鮫	干鱸	雜喉	鐵	鯖	鱈	赤貝	苗蝦	鮎	海鰻	赤女魚
周年七月		三月二月	十一月		三月二月		九月十月	自五月至九月	四月五月	五月六月	六月			三月	十月	二月
		自六月至九月		自六月至七月				自五月至六月		六月				自三月至五月		
	自五月至七月	六月七月					自五月至六月			五月六月	二月	十月				
							自五月至六月									
	周年	五月四月						周年								
自五月至七月			自五月至四月				自五月至七月								自四月至十月	
							自五月至七月									

第二項 氣象

將サニ雨降ラントスルニ三日前一鯖鮎ノ良漁アリ村相調
 以下全シ〇五六月頃晴天ニシテ風ナキ日ハ鱈漁ニ良シ
 〇氣候順ニシテ晝南風夜北風吹ク片ハ海岸ノ潮水澄ミ
 諸魚群集シ漁業ノ収利多シ〇毎年七八月頃苦潮ト稱シ
 本村灣内ノ海水黄色ニ變シ五六十日間モ澄マサルヲア
 リ然ル片ハ魚類多クハ灣外ニ去リ又章魚海鰻鰺鰻介類
 悉ク死スルアリ〇秋日西風吹ク片ハ鰯漁ニ良シ越坂

村調査ニヨ
 ○日々好天氣ト雖氏小豆島字坂手峯ニ白雲
 起リ西北へ颯々キハ東風トナル又七八月頃家島字防勢
 島西島ノ間ノ上ニ白雲綿如ホキ舞ヒ上リタルキハ辰巳ノ
 方位ヨリ暴風雨ヲ起ス之ヲ「ヤマセト」云ヒ最モ猛威ヲ逞
 フシ人家ヲ潰シ喬木ヲ倒シ船ヲ岩上或ハ海岸へ吹き上
 クル等ノ大害ヲ與フ而シテ此風ハ未申次ニ西ノ段々其
 方向ヲ轉スルヲ常トス若シ西ニ轉スレハ天晴レ風力モ
 漸々減スルナリ倍ニ之ヲ晴西風ト云フ又寒中明石沖ヨ
 リ淡路西浦ノ上ニ引廻シ黒雲堤防ノ如ク起ルキハ必ス
 大西風トナル又夏日霨起リ本村字宮本山ノ峰ニ鬩鬩キ
 或ハ本村字八祖山ノ峰ヲ起ルキハ雷雨トナルノ兆ナリ
 ○太陽出ツルノ際其方位ニ赤雲燒雲ト起リ而シテ忽チ
 散スルキハ多クハ雨ノ兆ナリ○沖氣ト稱シ夏土用ノ交

工連日波立チ甚クシキハ漁船ヲ浮フルニ由チキニ至
 ルトアリ然レ氏是レ氣候ノ頃ニ從ヒタルノ兆ニシテ斯
 如キ年ハ暴風ノ恐レナシ○夏季土用ヲ過キ立秋ノ季
 節ニ至リ十日間地嵐涼風吹ク方ヨリ海面ニ向吹起ルトキ
 ハ苦潮ト稱へ海面濁リヲ現ハシ其色濃茶色ニ變ス尤モ
 多ク灣内潮行遲緩ナル處ニ限レリ章魚鮓等ハ最モ之ヲ
 忌ミ甚クシキハ遂ニ死ニ至ルモノアリ○鰯漁ハ例年渙
 期夏秋ノ兩度ニシテ夏ハ六月ノ頃南風マセ言ヤ吹き秋ハ
 十一月ノ頃西風マセ言吹テ將ニ止マントスルキヲ以テ最
 モ良シトス而シテ適宜此風アルキハ一層魚群集シ岸ニ近
 寄ルト云フ尾崎村調査○鰯魚ハ例年渙期十月ニシテ
 此交南風マセ言ヤ良ト云適宜此風アルキハ魚近岸ニ群
 集ス○其他總テ魚ヲ渙スルニ春ハ南風マセ言秋ハ西風

方言ノ吹久ヲ良トス又雷霆聲ヲ轟カシ電光赫々トシテ
 甚夕シキ時ハ魚族大ニ恐レ近海ニ来ルコトシ然レ盛
 夏炎天ノ候會々驟雨ニ降ル片ハ海面微涼ニ催スカ故ニ
 魚ノ群集頗ル多シ○高島家島ニ黒雲懸タル片ハ必
 ス南風方言ヤ吹クノ微ナリ而シテ數日吹テ止マサル片
 ハ遂ニ烈風トナリ或ハ人家ヲ潰シ喬木ヲ吹倒シ船ヲ岩
 上ニ吹キ上クル等ノ大害ヲナス俗ニ之ヲ呼ンデ「犬ヤマ
 」ト云フ○小豆島ニ黒雲起ルトキハ東風方言方言ノ微ナリ○
 秋夜星光赫々タルトキハ西風起ルノ微ナリ○手操網漁
 期ニ際シ南風方言適宜ニ吹ク片ハ海水濁リ為ノニ魚群
 海岸ニ近寄ル中村以下調査ニヨ○氣候頃ニシテ昼ハ南風夜
 ハ北風ヲ送ル片ハ海岸ノ潮水澄ミ魚族ノ棲息惡シ、稍
 濁リタル片ハ捕獲ニ良トス○日々好天氣ト雖氏當郡真殿

山ニ靄越エル片ハ雷雨ヲ催スノ兆ナリ

第三項 群来ノ前兆

鷗群飛スル片ハ鰯又鵜群飛スル片ハ鰻魚及小鱸群集ス
 ルノ兆ナリ相生村調○九月頃鰯漁アル片ハ鰯群来ノ兆
 ナリ坂越ヨリ調○鰯群来セントスル片ハ海面濁ラ現ハシ
 其色泥濘如クナルヲ尾崎村調

第四項 去来ノ期節及方向

鯛鱸鯖鰯ハ八十八夜以下春全ヨリ鳴門及明石峽ヨリ来リ
 凡六十月間ヲ過キ再々其方へ去ルト云フ相生村以下調査ニ
 ○鰻ハ年々季候ニヨリ異同アリト雖氏概シテ寒明後三
 十三日ヲ経テ来リ八十八夜頃ヲ以テ去ルト云フ坂越村

○真鳥賊ハ寒明後七十五日ヲ経テ来リ年々季候ニ

後レ或ハ天氣ノ模様ニヨリ地方へ寄ラズ直六月中旬頃
二沖合ヲ東北ヨリ西南へ通過スル

去ル○キ鱒未期ハ真鳥賊ニ全シ其後三十日間ニシテ去
 リ八月再来シ凡十四五日間ニシテ南へ去リ九月又来リ
 十二月南へ去ルト云フ○セシド鳥賊ヤケ鳥賊ハ寒明後
 凡九十日ヲ経テ来リ三十日間ニシテ沖合へ出デ去ル○
 花魚ハ四月下旬頃ニ来ル三十日許リニシテ去ル○鯨ハ
 五月中旬ニ来リ十月下旬ニ去ル○鯨ハ洋中ヲ回泳セズ
 立春後七十日ヲ経テ明石海峡ヨリ西ニ向ヒ海岸ニ沿フ
 テ群行シ海灣ニ来リ棲息ス十一月頃鳴門海峡ニ向テ南
 海ニ去ル○鰯ノ目白子ニ長一ハ概子六月ニ来リ八月ニ去
 ル又秋鰯ノ長五分ヲヨリニハ九月ニ来リ十一月ニ去ル何レ
 モ南海ヨリ出入ス○當歳鯨ハ四月ニ生シ内海ニ生育ス
 八月ヨリ十二月迄ノ間ヲ捕獲ノ期トス此間沖合磯邊ヲ
 来往ス十一月ニ至レハ南海ニ去ル○ニ歳鯨ハ四月南海

ヨリ来リ八月南海ニ去ル○鯨ハ鳴門海峡以内ニ生育シ
 三月頃淡路海ヲ経テ家島地方ヲ通過シテ當海ニ入ル然
 レ氏未夕其帰路ヲ審ニセス中村調査ニヨ○鰯ハ鯨ト全
 シキ處ニ生育シ例年寒明後五十日頃ヨリ南行シテ讃岐
 國小豆島ノ南ヲ経漸次進シテ全國土ノ戸海ヲ通過シ全
 國シヤマシ島海ニ入ル此處魚族ノ而シテ寒明キ後百日頃
 頃五月ニ至レハ復タ土ノ戸ヲ経小豆島内外ヲ通過シテ當
 海ニ入ル未夕其帰路審カニセスト雖氏十二月頃ニ至レ
 ハ家島ノ南三四里ニ處ニ於テ漁撈ス○鳥賊ハ多クハ紀
 州海ニ生育シ五月頃ヨリ西行シ淡路海ヲ経テ家島内外
 ヲ通過シ當海ヲ入ル其帰路未夕審カテラサレ氏七月頃
 家島ノ内外海ヲ経テ淡路海ヲ通過シ遂ニ紀海ニ歸ルモ
 ノ如ク○此日魚ハ多ク讃岐國小豆島海ニ生育シ三月

ヨリ出泳シ當海ニ入概乎七月頃小豆島海ニ歸ル○赤鯺
 ハ多ク讃岐國小豆島海ニ生育シ五月頃ヨリ當海ニ入り
 概乎十二月頃小豆島海ニ歸ル○鯛ハ春ハ讃岐國小豆島
 海ヨリ當海ニ至リテ東ニ入り又秋ハ紀州海ヨリ明石瀨
 戶ヲ經家島海ヲ通過シテ當海ニ入り小豆島海ニ去ル

第三款 漁場

相生村 鰯魚漁場ハ本村港内宇挂石ヨリ九崎ヲ見通シ

區域 鰯魚漁場ハ本村港内宇挂石ヨリ九崎ヲ見通シ

以北ノ間トス但明治五年頃以前ハ宇遠見崎ヨリ甲

崎見通シ以北ノ間ナリシモ以降漸次土砂流出シテ

浅灣トナリ為メ斯クノ如ク變移セリ○鯛鱈鯖鱈

鰻鰯等ノ漁場ハ節東郡家島周回ヨリ讃岐國小豆

島八里程北阿波國鳴門理程十道ノ間ニアリ

潮流 本村港灣ハ其形状ハ南北ハ長ク凡六十町以上

ニ及ビテ其潮流満潮ノ時ハ東ヨリ急ニ流レ入り落

潮ノ時ハ南方ニ流出ス思フニ東揖西郡室津沖ニ二

三ノ小島アリ満潮ノ時赤赤急流ナルヲ以テ該島ニ

激シテ本村灣内ニ流レ入り落潮ノ上キハ南方沖合

支障スルモノナキヲ以テ直午ニ其方ニ向ヒ去ル
 毛ノナラン又流弊ハ大体春ハ急ナレ氏冬ハ緩ナリ
 水底ノ概状本村港灣内字遠見崎以内奥灣ニ稱ハ
 中央深サ一丈二尺深リ然レ氏陸ニ近ツクニ隨ヒ漸
 ク浅底トナレリ但弘化嘉永年間ハ元ト深カ、リシ
 カ爾来佐方村等ノ土砂流出セシニ因リ斯ノ如キ景
 況トナレリ又字遠見崎ヨリ以外灣口鬘島迄ハ深サ
 二丈二尺其海ハ粘土トス又灣内ニ字石壁笠松ナ
 ニテ所ノ暗礁アリ
 那波村ニ佐方村ニ本村地先海面ヨリ灣口即チ相
 生村港
 区域 鬘魚及鱒漁場ハ本村地先海面ヨリ灣口
 灣ノ鬘島ニ至リ又東揖西郡伊津浦ヨリ西本郡坂越
 村ノ間ニ在リ ⑤白藻採取場ハ本村地先ヨリ相生村

海面赤地山ノ麓邊ニ至ル沿岸凡ソ三十丁ノ海底ニ
 アリ
 潮流 潮流ハ相生村ニ全シ
 水底ノ概状 海岸ニ接近セシ處ハ満潮ノ時深凡三四
 尺ニシテ水底ハ大小ノ砂利ナリ又海岸ヲ距ル十五
 町ノ邊ハ深サ三尋位ニシテ水底粘泥ナリ六月鬘魚
 鱒魚群来ス
 坂越村
 区域 鱒漁場ハ東加古郡高砂冲手海岸ヲ距即飾東郡
 家島ノ内上島冲ヨリ西ハ備前國邑久郡牛窓村前島
 冲地先トテ距三至北凡十八里間及備後國沼隈郡鞆津
 冲ヨリ伊豫國太島ニ至北七里ノ間ニ在リテ各地漁
 者正入會ナリ ⑥苗蝦漁場東ハ飾東郡飾磨津海岸ヨ

系

リ西ハ備前國和氣郡沖手カクイ島海岸迄ニ在リテ
 各地漁者ト入會セリ◎海鼠漁場ハ本村地先キヨリ
 揖西郡室津海岸迄三里間ニ在リテ本村及相生村室
 津三ヶ村漁者ト入會ナリ○手操網漁場ハ東ハ相生
 村沖手ヨリ西ハ加里屋町沖手ニ至ル九二里半ノ間
 ニ在リテ該沿海各村漁者ノ入會トス
 潮流ハ潮流ハ常ニ東西ニ往来シ大潮小潮ハ一周間毎
 ニ變遷スルノ別ナレバ大体夏ハ急ニシテ冬ハ緩ナ
 リニシテ
 水底ノ概狀 本村港内字井ノ濱向ツラ城尾名切大黒
 坪口黒崎大泊ノ八ヶ所ハ鰯等ノ雜漁場ニシテ各陸
 ヲ距ル九十間ニシテ深サ四尋三十間ニシテ六尋位
 下ハ水底ハ総テ粘土ナリ

尾崎村

區域 鰯魚漁場ハ字深山ノ沖合ニ在リテ
 潮流 潮流ハ常ニ東西ニ往来シ春ハ急ナレバ冬ハ緩
 ナリ但シ毎月一日十五日曆陰ハ急ニシテ七日二十五
 日ハ緩ナリ
 水底ノ概狀 海岸ニ接近セシ處ハ水底砂ナリ是ヨリ
 沖合一町ノ處ニ至レハ深サ四尋アリテ水底ハ砂利
 ナリ尚進ンテ四丁ノ處ニ至レハ筏ヶ瀬ト云フ暗礁
 ナリ蓋シ其狀筏ニ似タルヲ以テ名ケタリ礁ノ南北
 ハ深サ各九尋水底ハ大砂利ナリ此處採網漁場ニシ
 テ鰯鱈類ヲ捕獲スルノ多シ又進ンテ八丁ノ處ニ
 至レハ深サ七尋ニシテ水底ハ泥濘ナリ

新濱村

新濱村

區域 鯧魚漁場ハ本村ノ東南沿海即字福浦大塚等ノ
 灣曲セテ處ニアリ ①小鮎漁場ハ本村塩田用水ニ供
 スル瀧筋字廣海通稱スル場所及本村西端字唐船沖
 ニシテ水淺ク細砂ハ多キ所等ナリ ②鱸魚漁場ハ本
 村東南沿海字大塚及西端唐船沖ニ斗出セル波止場
 近傍等ニシテ陸ヲ距ル僅ニ一二丁ノ處ニアリ ③鰯
 魚漁場ハ本村字三崎陸ヲ距ル凡四五町鷗護岩ト稱
 スル暗礁ノ近傍ナリ ④潮流ハ常ニ東西ニ往來ス四時緩急ナシ然レモ
 三崎ノ山脈海中ニ突出セルヲ以テ他ノ地方ニ比ス
 レハ稍急激ナリ就中鷗護岩ノ邊ハ一層急ナリトス
 水底ノ概狀ハ本村字大塚及福浦ハ沖合二丁以内ハ深
 四五尋水底ハ土砂ニシテ製塩ヲ供シタル石炭ノ焚

洋之ニ交ハル其以外ハ泥土ニシテ深十五尋以上ア
 リ春秋ノ候鰯魚群來ス又字三崎沖四五町ヲ隔テ北
 鷗護岩ノ近傍ハ深亦十三尋ニシテ水底ハ泥土ナリ
 水十一丁二月ノ頃鰯魚群來ス又字唐船沖ハ他ニ比ス
 レハ稍淺シ而シテ沖合十二丁以内ハ深廿二尋乃至
 五尋ニシテ水底淺處ハ砂利ニシテ三月ノ頃小鮎來
 リ又深處ハ泥土ナリ九月ノ頃鱸魚群來ス
 中 村ノ西端ニ西備前國兒島郡日比村ニ至ル凡廿九里
 區域 鯧魚海鰻海鰻鱈鮓沙魚鰻菜ノ漁場ハ東加古郡
 三見村ヨリ西備前國兒島郡日比村ニ至ル凡廿九里
 沖合ハ讚岐國手島ハ本村四里小豆島ハ本村七里本國飾
 東郡家島ハ本村三里ニ至ル間ニアリ但シ尚時宜ニ
 ヨリ安藝國宮崎及讚岐國シヤミ島土ノ戸阿波國徳

島カ江村及鳴岩淡路國西海ヲ漁場トス
 ◎牛緑網漁場東ハ揖西郡室津ヨリ西備前國邑久
 郡牛窓村ニ至ル凡十里ヨリ間ニ下リ◎鰯網漁場
 東本郡新濱村ニ至ル西備前國和氣郡福浦村ニ至ル
 二里廿下ノ間ニ下リ◎小鮎白魚網漁場ハ東新濱村
 川口ヨリ西ハ加里屋町字東沖手松ノ鼻迄二里以内
 ノ間ニ下リ就中良漁場ハ本村地内字大彌五三トス
 潮流ハ潮流ハ常ニ東西ニ往來シ春ハ急ナレ冬ハ緩
 ナリ
 水底ノ概狀海岸ニ接遊モシ處ハ深サ概子六尋ナリ
 此處ニ字取揚島ト云フアリ水底ハ概子泥土ナリ此
 處ハ二月頃鮫沙魚群來ス次ニ飾東郡家島近海陸
 三里ニ至ル此處ハ深サ凡十四尋水底ハ泥土ニシテ

海藻ジ方モ言ウヲ生ス次ニ讃岐國小豆島長御鼻ヨリ海ヲ
 距ル七ニ至ル此處深サ一定ナラサレ氏概ニ廿四尋
 トス水底ハ大約泥土ニシテ海藻ジ方モ言ウ多シ次ニ備
 前國邑久郡鷓島ニ至ル此處ハ深サ凡十四尋水底ハ
 砂礫ナリ

赤穂上夜屋町

區域 鰯鮪鮎等ノ漁場ハ東揖西郡室津港ヨリ西備前
 國和氣郡片上村ニ至ル凡十三里内外南ハ讃岐國小
 豆島ニ至ル凡七里半ノ間トス
 潮流 中村ニ全シ
 水底ノ概狀 中村ニ全シ

赤穂加里屋町

區域 上夜屋町ニ全シ

潮流 中村ニ全シ
水底ノ概状 中村ニ全シ

折方村

區域 鰯鱒漁場ハ本村地先字ヒ夕島ヨリ南字取揚
島ニ至ル九二里ノ間ニアリ

潮流 ヒ夕島ヨリ取揚島ニ至ルノ間通常西北ヨリ東

南ニ相往来シ而シテ春ハ急ナレ氏冬ハ緩ナリ

水底ノ概状 本村地先ヨリ沖合ヒ夕島迄ノ間ハ至テ

淺ク落潮ノ片ハ其底ヲ現ハス又談島ヨリ南取揚島

ニ至ルノ間ハ概子二三尋乃至五六尋ノ深サニシテ

水底ハ砂利又ハ泥土トス

第四款 入會漁船ノ數

相生村

一雜魚漁場

漁船總數 百三十五艘 但一人一船 明治十九年

内

飾東郡家島漁船 五艘

本郡中村漁船 三艘

本村漁船 百二十七艘

坂越村

一雜魚漁場

漁船總數 五十艘 但一人一船 明治十九年

内

本郡相生村漁船 三十艘

尾崎村 本村漁船 二十艘

尾崎村

一諸魚漁場

漁船總數

十六艘

明治十九年六月調

内

坂越村漁船

二艘

新濱村漁船

四艘

本村漁船

十艘

當漁場明治四年ノ頃ハ僅ニ漁船七八艘位ナリシカ

同ホ五六年頃ヨリ増加シ遂ニ本文ノ數十ナレリ

新濱村

一鰯鱒鱸等漁場

漁船總數

四十艘

乃但至一五艘一人衆

明治十九年十一月調

内

備前地方漁船

二十三艘

近方漁船

八艘

本村漁船

九艘

中村

一釣船手操網小鮎網鰯網漁場

漁船總數

六百十三艘

但一人衆

明治十九年四月調

内

備前地方漁船

四百十八艘

飾磨津漁船

五艘

室津地方漁船

十艘

網子地方漁船

十五艘

本郡各地漁船

八十三艘

本村漁船

八十二艘

當漁場ハ慶應二年頃迄ハ僅ニ漁船百三十艘位ナリ

シカ明治四年頃ヨリ年々増加シ遂ニ本文ノ數トナ

レリ

赤穂上夜屋町 全加里屋町

一 鯔魚漁場

漁船總數

十七艘

明治十九年四月調

内

南野中村漁船

一艘

尾崎村漁船

三艘

中村漁船

四艘

上伎屋町漁船

三艘

加里屋町漁船

六艘

當漁場ハ明治二年頃迄ハ僅ニ漁船三四艘ナリシカ

明治十三年頃ヨリ年々増加シ遂ニ本文ノ數トナレ

リ

折方村

一 鯔魚漁場

漁船總數

九艘但一人兼

明治十九年調

内

中村漁船

三艘

加里屋町漁船

四艘

本村漁船

二艘

當漁場ハ明治初年ノ頃迄ハ僅ニ二三艘ニ過キサリ

シカ漸次増加シテ本文ノ數トナレリ

漁具現數

左ノ如シ

第五款 第一項

漁網及釣具等

第五款

漁具

二

一

海船釣 數本	海船曳網 數置	蛤貝堀 數英	鐵數海船 鋼海船 秤繩 數桶	沙魚釣 數本	海船釣 海船 秤繩 數桶	海船釣 海船 秤繩 數桶	鰻魚網 數置	鰻魚網 數置	漁具名
				三〇	五	二	一七		相生村
		五		六	二				那波村
					一				佐方村
二〇	一三			五八	九	一	一八		坂越村
			三		四		四		新濱村
					四	一	八		尾崎村
		五	三〇〇		五		四		中村
					三				赤穂夜崎
					六				赤穂加壽崎
					三				折方村
二〇	一三	五〇	三〇〇	六四	三〇	四二	四	五二	合計

第五款 第一項 漁網及釣具等

相生村 那波村 佐方村 坂越村 新濱村 尾崎村 中村 赤穂夜崎 赤穂加壽崎 折方村

海船釣 海船曳網 蛤貝堀 鐵數海船 鋼海船 秤繩 沙魚釣 海船釣 海船 秤繩 鰻魚網 鰻魚網

數本 數置 數英 數桶 數本 數桶 數桶 數置 數置

二〇 一三 五〇 三〇〇 六四 三〇 四二 四 五二

漁船現數

第二項

漁船

種別

相生村

坂越村

新濱村

尾崎村

中村

赤穂夜屋町

赤穂加屋町

折方村

合計

白藻採草 數	鉢 釣 數	雜魚 網 數	雜魚 手 網 數	干 鱈 坪 網 數	鱈 縛 網 數	鱈 縛 網 數	赤貝 鳥貝 漕網 數	苗 蝦 漕 網 數	蝦 撈 網 數
		一一一	二〇			二			六
一五									
	五五		二三	三八	二		二〇	二〇	
			六						
									二〇
			四六						
一五	五五	一一一	八五	三八	二	二	二〇	二〇	二〇

小鮎 地引 網 數	竹 煙 突 數	鰻 釣 數	鰻 撈 數	海 鼠 漕 網 數	鱈 鱈 坪 網 數	以 夕 貝 採 肩 網 數	鱈 鮎 建 網 數	鯛 丁 子 網 數	章 魚 漕 網 數	以 夕 貝 採 鉞 數	海 鰺 鮎 釣 數	海 鰺 鱈 釣 數
止				一五	一三			五二			八四	
		三三	三									
				一四	二〇			六六				
					二				二			三〇
					一〇		七五					
四	四五					四五		二五		四五		
						六						
						三						
六	四五	三	三	二九	四五	四五	七五	七七	二	四五	八四	三〇

四間半漁船	四間漁船	三間半漁船	三間漁船	二間半漁船	二間漁船	一間漁船
	一八			二六八		
					二二	一四三
五		七	五			
	四		六			
				八二		
					三	
					六	
					二	
				三五〇	三三	一四五
五	一二	七	一一			

第六款 漁法

鰯漁

曳網 津名郡地曳網ニ全シ但轆轤ノ使用ハ船中ニ於
 テスルナリ即チ網船カ網ヲ配置シ了リヨ磯邊ハ
 達スレハ陸地ヨリ網ヲ張りテ其船ヲ繫キ置キ以テ
 船中ニ於テ轆轤ヲ運轉シテ網網ヲ捲キ取り既ニ網
 ニ達スレハ更ニ了バ網ニ曳網ヲ結束シテ尚之ヲ曳
 キ揚ク而シテ網袋ニ至リタルキハ小船ニ艘ハ袋ノ
 両側ニ来リ以テ雙方ト共ニ袋ヲ引揚ケ攪網ヲ以テ
 袋中ノ魚ヲ抄ヒ揚クルモノトス 坂越村調査ニ〇又
 該網ノ内ニ小鰯即チ白子鰯網漁法アリ其漁期立春
 ヲリ百十日目頃ニ至レハ漁船ニ艘各組六人ニ該網一
 疊ヲ分載シ外ニ艘各組一人都合四艘ノ船ヲ備ヘテ出

漁ス抑談魚ハ長凡五分ニシテ早天ニ群ヲナス殊ニ
 風雨ナキ日尤モ多ク游泳ス故ニ此日ヲトシ漁事ヲ
 ナス丁ニシテ一人ノ魚見人ハ此魚群ヲ視察シ直ニ
 二艘ノ網船ニ指揮シテ魚ノ先途ニ網ヲ掛ケシム網
 船ハ即チ分載ノ網ヲ繫キ左右ニ分レテ孤線ニ網ヲ
 投ス網船ハ直ニ磯邊ニ押寄セ陸地ニ網ヲ以テ繫キ
 船中艫轆ヲ立テ網ノ曳網ヲ捲キ網ノ船中ニ来ル片
 ハ轆轤ヲ除キ手ニテ曳寄セ網袋近ツケハ網船ハ漸
 次来リ其網袋ノ既ニ近寄ルヲ見テ船ヲ合セテ袋ヲ
 曳キ上ケ以テ袋底ニ魚ヲ收ム

烏賊漁

袋坪網 海鯽袋坪網ニ全シ

鰯魚漁

緑網 津名郡鰯緑網ニ全シ但シ魚見トシテ山上ニ登
 ルモノヲ沖合ヒト云ヒ又魚見ノ誤リナキ夕ノ尚老

練ノ漁者ヲ隨ヘテ行ク之ヲ漆山ト云フ

打網 漁季八月中旬ニ至レハ漁船一艘ニ二人衆組夜

中談魚及海鯽鱗ノ群集ヲ視察シ石ヲ海中ニ投シ其

魚ヲ駈リ寄せ直ニ網ヲ投スレハ魚ハ其袋ニ潜伏ス

即チ徐々ニ之ヲ曳キ揚ケ捕獲ス坂越ヨル調○ガワ網

漁法ナルモノアリ即打網使用ニ伴フモノナリ漁期

ハ八月ヨリ十月末迄ニシテ談一組ニハ船三艘ヲ要

ス一艘各二人衆ニシテ二艘ハ延繩鳥翼板片ヲ付シ

一艘ハ打網ヲ備ヘリ使用ノ順序ハ潮水濁リ而シテ

太陽ノ昇リタル片ハ群魚澄刺シテ頻リニ欣喜セル

ノ状ヲ現ハスモノナリ此機ヲ見テ二艘ノ漁船ハ延

繩ヲ投シ込ミツ、左右ニ分レ打網船ノ豫メ待テ居ル方向ニ之ヲ曳ク片ハ延繩ハ孤形トナリ板片ハ此立シテ水ヲ抱テ颯々トシテ進行シ鳥翼ハ水中ヲ潛行ス鰻魚以テ水鳥ノ逐ヒ来ルモノト為シ孤形圍中ヲ周章奔走スルニヨリ之ヲ伺ヒ即チ打網ヲ投シテ捕獲スルナリ赤穂ニ上飯屋所ニヨル

沙魚漁

拵繩 漁船一艘ニ五桶ヲ備ヘ蝦ヲ餌料トナシテ海中ニ配置ス該具ハ海鰻鰺魚ニモ兼用ス相生ヨル調釣 漁期九月上旬ニ至レハ一艘ノ船ニ二人衆込ミ釣具四五箇及ヒ碇ヲ積載セ海上ヲ徘徊シ該魚ノ群集セル所ヲ視察シ船ヲ止メ小蝦ノ皮ヲ去リ釣ニ挿シテ投ス一人ニシテ釣棹二本ヲ用ヒテ漁スルモノト

ス坂越村調
查ニヨル

鱧魚

拵繩 津名郡ニ全シ

鯪魚

拵繩 飾東郡ニ全シ

蛤漁

貝堀 三月ニ至レハ退潮ノ時ヲ計リ干瀉ニ出テ手斧即チ貝堀ヲ以テ泥土ヲ搜リ之ヲ取ルモノトス那波村調查ルニ○二月ヨリ六月迄ハ日没干潮ノ片六月ヨリ十一月迄ハ昼間干潮ノ片ヲ良トス漁具ハ肩削鋏ニシテ砂中ヲ搔キ之レニ觸ル、ヲ捕フ中ヨル調査

鳥貝漁

貝漕網 赤貝漁ニ全シ

海鯽魚

打網 鯽魚打網ニ全シ

袋坪網 漁期三月ヨリ六月迄ニシテ陸地ヨリ沖合ニ

向ヒ恰モ蚊帳ヲ張りタル如ク装置シ時々其網ニ入

ルヤ否ヤヲ視テ該袋ノミヲ曳揚ケテ捕獲ス漁獲物

ハ主トスルモノハ海鯽之ニ亞テモンゴ鳥賊等トス

坂越村調査ニヨル

拵繩 飾東郡ニ全シ

釣 漁法ハ大概鱸漁ニ異ナルナシト雖氏漁期ハ六月

項及九月ニシテ漁人雙手ニ竹竿ヲ持テ深淺且キヲ

量リ釣ヲ海底ニ迄達セシメ時々釣糸ヲ上下シテ該

魚ノ来リ餌料ヲ食スルヤ否ヤヲ試ミ以テ捕獲スル

モソトス新濱村調査ニヨル

ヲ、人貝漁

釣 漁法竹煙ニ全シト雖氏洲瀉一釣搔キテ示判形ノ

穴ヲ認メシ片ハ尚二三釣搔キテ之ヲ撈ル中村調査

章魚漁

壺繩 明石郡ニ全シ

鯛漁

ゴ十網 拵繩 津名郡ニ全シ

鱸漁

打網 鱸魚打網ニ全シ

坪網 飾東郡ニ全シ

ツベ夕貝漁

肩削 蛤採肩削ニ全シ但漁期ハ主トシテ二三月ノ間

トス中村調査ニヨル

海鼠漁

漕網 三原郡 全シ但漁船ハ一人衆ニシテ于潮ノ岸

ガ藻ノ處ニ出漁ス凡ソ一町計リ漕キ進ンテ之ヲ揚ク如斯スルコト終夜幾回ニ及フ坂越ヨル

鰻漁

鰻搔釣 淡水漁業ノ部揖西郡ニ全シ那波ヨル

猿類漁

貝漕網 赤貝漁ニ全シ

竹煙漁

竹煙突 漁期二月ヨリ六月迄ニシテ于潮ヲ俟テ釣ヲ

以テ洲馮ヲ搔キ去リ瓢形ノ穴ヲ認メ食塩ヲ其穴ニ

注テハ忽チ出ツルヲ以テ之ヲ撈リ或ハ詭器ヲ以テ

其穴ヲ刺シ捕獲ス中ヨル調査

鯨漁

坪網 飾東郡鱒魚ニ全シ

小鮎漁

曳網 漁期二月ニ至レハ漁船一艘ニ四人衆組ノ出漁

ス抑モ小鮎ハ概子于潮ニシテ夕陽ノ没セントスル

時ハ群集スルモノナリ故ニ此時ヲトシ漁事ヲナス

ナリ其順序ハ先ツ寄洲ヨリ船ヲ漕キ出スト同時ニ

網端ノ曳繩百餘端付セリ各網ヲ投シ遂ニ他ノ網端ノ

曳繩ヲモ投シテ元出船ノ處ニ漕キ歸リ衆組四人ノ

内ニ一人直ニ洲ニ上リ二人ハ船中ニアリテ左右ニ

分レテ互ニ詭繩ヲ繰リ取り洲上ニ曳キ揚ケ之ヲ漁

獲ス但シ老練漁者一人ハ常ニ寄洲ニ立テ其網ノ使

用ヲ指揮スルナリ中ヨル調査

蝦漁

撈網ハ談蝦ハ方言ハ「ツ蝦ト唱ハ歟等ノ漁用餌ニ供スル目的ヲ以テ捕獲スルモノナリ漁期十二月ヨリ翌年四月迄ノ間ニシテ漁船一艘ニ二人衆組談網ヲ舳ハ築ニ結ニ付ケ漕行シ以テ海藻ニ群集セル蝦ヲ搔キ收ルルハ但漁期中十二月四月頃ハ漁獲多ク又一月ニハ夜陰即チ日暮ヨリ夜半十二時迄其他ノ時期ニハ日暮ヨリ十時頃迄トスニ中ヨリ調査

苗蝦漁

漕網ハ漁期十一月至レハ漁船一艘ニ二人衆組暗夜漕出シ視察スルニ其海中ヨリ游泳スル片ハ方言「ヒキト唱ハ閃々トメ水中光アルヲ見ル是レ即チ群集ノ兆ナリ依テ網ヲ投ス但漁船ヨリ長サ一丈許リノ木

赤貝漁

棹ハ海上ハ突出シ其端ニ五尺程ノ網ヲ付ケ以テ談網ヲ繫キ又舷ニ行燈ヲ集マラシ附ムルハ其光ニヲ装置シ以テ漕キ進ミ網ヲ曳クナリ網中適宜ニ入ルヲ考ヘテ幾回モ之ヲ揚ケ收獲スニ越ル村ヲ調査

貝漕網ハ漁期一月ニ至レハ早天ヨリ漁船一艘ニ二人衆組ニ陸ヲ距ル凡一丁ニシテ泥底ノ處ニ出テ談網ヲ投シ而シテ網網ハ漁船ニ括リ付ケ櫓ニ挺ヲ以テ船ハ轉覆スル許リニ激シク動カシテ漕キ其進ム凡二丁ニシテ之ヲ揚ケ即チ談貝ヲ捕獲ス水漁ハ談貝ハ外鳥貝ハ猿類ヲモ捕獲スニ坂ニ越ル村ヲ調査

海鰻鱺漁

拵繩ハ沙魚漁ニ全シ

鯖漁

縛網 漁期ハ八十八夜頃ニシテ鯖網漁用ニ漁船ニ艘
 二漁網一疊ヲ分載シ各十一人外手船六艘各五人衆
 組都合八艘ノ船ヲ備ヘ時期ヲ俟ツ抑モ談魚ハ晴天
 風ナキ日ヲ以テ群ヲ為ス故ニ如此ノ日ヲトシ漁事
 ヲナスナリ而シテ六人ノ魚見人ト合フ手船ニ各一
 人衆衆組水面ヘ鯖ノ尾鱈ヲ出スヲ認ル中ハ直ニ六
 人共采ヲ振リテ二艘ノ網船ヲ指揮シ談魚ノ方向ヲ
 考ヘ潮流ノ下流ヨリ潮上、向ヒテ網ヲ掛ケシム依
 テ網船ハ分載ノ網ヲ繫キ左右ニ分レテ孤線ニ網ヲ
 投ス此時六艘ノ手船網ノ前面ヘ廻リ駈々置々トシ
 テ石礫ヲ投シ魚ヲ圍シテ網圍中ニ驅ル網船ハ差違
 ニ相進ミテ魚ヲ圍ニ網ノ端ヲ交叉状丸四行違フ許ニ

鯖漁

ナシテ網口ヲ塞ク是ヨリ漸次其網ヲ繰リ揚グ此時
 四艘ノ手船ハ網船ニ繫キタル碇又ニ艘ハ網ノ「アバ
 網」ヲ取り一ハ左一ハ右ニ漕キ以テ網圍區域ノ縮小
 セントスルヲ防ク斯クシテ網ヲ繰リ遂ニ袋底ニ至
 レハ手船ヨリ鍬鍵ヲ以テ魚ヲ収ム坂越ヨル調
 縛網 鯖漁ト大異ナキモ二艘ノ船ニテ網ヲ引廻ス節
 ハ魚轉シテ去ラントスル「ア」リ時ニ小船四艘談魚
 ノ脱去セントスル方ニ回リ棹先キニ三尺四寸許リ
 ノ白布ヲ附ケ追ヒ回ス形状ヲナシテ魚ヲ網内ヘ驅
 リ入レ以テ捕獲ス相生ヨル調

雜魚漁

手繰網 津名郡ニ全シ

ウタセ網 飾東郡雜魚為持網ニ全シ

キ鱒魚

坪網 飾東郡鱒坪網ニ全シ

鯨魚

打網 鯨魚漁打網ニ全シ

釣 海郷釣漁ニ全シ但漁期ハ十二月ヨリ四月迄トス

坂越ヨル調

白藻採

ガンジキ 採期六月ニ至レハ退潮ノ時期ヲ計リ淺水

ノ處ヲ見テ談具ヲ以テ撿キ取ルモノトス那波ヨル調

鱸魚

釣 漁船一艘ニ一人乃至二人乗組ミ七八月ノ交海中

ノ濁リタル時凡一里内外ノ沖合ニ於テ餌科生蝦ヲ

用ヒ手釣ス其糸ヲ垂ル、下海底ヨリ凡二尋ノ上ニ

シテ止メ以テ魚ノ来ルヲ俟ツ蓋シ鱸ハ海底ニ游泳

セスシテ中途ニアルヲ以テナリ而シテ談魚食ヲ求

ムルニ汲々タル片此釣餌ヲ食ハシメ釣糸ハテ水際

マテ曳上ケ攪網又ハ籠ヲ以テ海面ヨリ之ヲ掬捕ス

新濱村調
査ニヨル

第七款 有害漁法

維新後ウタセ網漁盛ニ行ハレ諸魚衰微セリ就中鰯漁小
 最モ甚シ之ヲ改良スルハ漁場區域ヲ定メ規約ヲ為シ期
 節ヲ制シ以テ之ヲ許ストトセハ其功アラシカ相生ヨリ調
 ○ゴキ網鰯漁ハ海岸ヨリ四五丁許リノ處ニ於テ漁業
 スルモノナルカ船中横槌ヲ以テ槽床ヲ叩キ魚ヲ威シテ
 網中ニ驅ル為メニ諸魚皆他へ散乱シ為メニ大ニ他ノ漁
 事ヲ妨ケリ坂越ヨリ調○カラモウゴキト稱スル密網蓋海
 類ヲ以テ明治十年頃ヨリ創製シ海岸魚群ノ棲息スル處
 ヲ曳キ廻シ捕獲スルモノアリ甚夕蕃殖ヲ妨ケ其害ウタ
 セ網漁ニ類ス中村調查

系

第三章

第一款

蕃殖

生産期節

水族ノ生産

スル期節左ノ

如シ調坂越村中ヨル村

品名	鰯	鯖	鯛	鰹	鯨	鮫	鯨	鰻	鰻	鮪	鰯	鰻
三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月
陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大	陽大
初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初
卯	卯	卯	卯	卯	卯	卯	卯	卯	卯	卯	卯	卯
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕
獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲
セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
又	又	又	又	又	又	又	又	又	又	又	又	又
最	最	最	最	最	最	最	最	最	最	最	最	最
後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後	後
ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ
捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕
獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲
セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其
卵	卵	卵	卵	卵	卵	卵	卵	卵	卵	卵	卵	卵
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕	捕
獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲	獲
セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ	セ
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽
大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

水産物ノ生産スル期節左ノ如シ調坂越村中ヨル村
 又最後ニ捕獲セシ月
 其卵十キ魚ヲ初ノ
 三月陽大
 六月陽大
 六月陽大

赤沙魚	海鼠	牛鱗	飯章魚	手長章魚	鳥貝	赤貝	猿類	蛭	辛螺	棠螺	蝸蟬	鯉
全上	全上	七月陽大	二月陽大	全上	全上	不詳	全上	全上	全上	全上	三月陽大	不詳
全上	全上	八月陽大	四月陽大	全上	全上	不詳	全上	全上	全上	全上	六月陽大	不詳
全上	全上	八月陽大	四月陽大	全上	全上	不詳	全上	全上	全上	全上	六月陽大	不詳

白狹鰓	黑鰓	苗蝦	藻鰓	了了鰓	石鰓	筍鰓	油身鰓	阿甲鰓	菅鰓	梅鉢鰓	白沙魚	黑沙魚
全上	全上	全上	全上	十一月陽大	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
全上	全上	全上	全上	一月陽大	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上
全上	全上	全上	全上	一月陽大	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上

系

系

小鮎	アマカレ	朱口魚	鰯	大章魚
八月陽大	九月陽大	全上	全上	三月陽大
九月陽大	十一月陽大	全上	全上	六月陽大
十月陽大	十二月陽大	全上	全上	九月陽大

第二章 魚類 生産場所

小鱸ハ、海岸ノ藻中ニ産卵スヨル以下調査ニ○赤女魚ハ淡
 鹹水相交ル處ノ藻中ニ生産ス○海鰻、鰺、鮫及海鼠ハ海岸
 ノ藻中ニ生ス○花魚、鰻ハ沖合ノ深處ニ生産ス○鮫ハ沖
 合ノ藻中ニ生産ス○蛤ハ海岸接近ノ泥沙中ニ産ス村那波
 方村調査ニヨ○白藻ハ海岸ヲ距ル九ソ一丁ノ處ヨリ二
 十四五丁迄ノ處ニ産出シ生育頗ル速カナリ○鰯ハ陸ヲ
 距ル一里許リ沖ノ海底泥中ニ産卵シ成長スルニ從ヒ地
 方ノ淺所ニ移ルヨ坂越村以下調査ニ○鯨ハ地方ノ淺所ニ産卵
 シ成長スルニ從ヒ沖合ニ出游ス○鯖、鯖、鰯、殘魚、魴、剥皮
 魚、鱈、魚、鰻、比目魚、鮎、牛舌魚、赤鯨、雞子魚、カ夕鯨、刀魚、方頭魚、
 車蝦、シラサ蝦、黒蝦、鱧ハ沖合ノ深處ニ産卵シ孵化後各處
 ニ出游シ時下シテハ地方ノ淺處ニ移ル○苗蝦ハ備前國

ニ在テハ御野、道邑久、諸郡海面淺處ノ泥沙中ニ生ス
 長スルニ從ヒ所々ニ游泳ス時下シテハ播磨地方ニ群來
 スルアリ故ニ備前地方ハ毎年捕獲スルモ當地方ハ五
 年乃至十年ノ間ニ一ヶ年捕獲スルモノナリ○アブラノ
 鮓、アコウ鮓ト、口鮓ウメバノ鮓及藻蝦ハ海岸淺處岩石
 ニ生スル神馬藻ニ産卵シ孳化後ハ其藻陰ニ潜伏棲息ス
 ○キ鱒海鰈、野文鰈魚、鯧鰈、鰈蝦ハ海岸淺處ノ泥中ニ産
 卵シ孳化後各處ニ游泳ス○船頭烏賊、真烏賊、水烏賊、紅烏
 賊、飯章魚、手長章魚、大章魚ハ其卵白色ニシテ透明ナリ海
 底ノ苦藻或ハ沈没セル古繩等ニ産付シ孳化後各處ニ出
 游ス○ヤケ烏賊ハ其卵黑色ナリ産卵ノ景況前ニ全シ○
 石鰈、白沙魚、赤沙魚、黒沙魚アマテ鰈ハ海岸淺處ノ泥中ニ
 産卵シ孳化後平藻ノ陰ニ棲息ス○海鼠ハ海岸ノ淺處ニ

産卵シ長スルニ從ヒ深處ニ移ル若シ孳化ノ際雪水海ニ
 注入スル片ハ死スルモノ多シ其後生長シテ凡一寸乃至
 二寸位トナリタル片暴風ニヨリ海濱ニ吹キ揚ケラル、
 一アリ○鰈ハ海中淺所ノ泥土ニ生スル平藻ノ間ニ胎生
 ス○鰈ハ海岸ノ淺所ニ生シ泥土或ハ岩石ノ間ニ潜伏ス
 ○赤貝、鳥貝、猿類ハ海岸ヲ距ル一四五丁乃至三十丁迄ノ
 海底泥中ニ生ス○蛸ハ于瀉トナル泥中或ハ砂礫ニ生産
 ス○榮螺、辛螺ハ海底岩石ノ間ニ成長スト云フ○蜻蛉ハ
 深處ノ泥中ニ産卵ス○鰻鰩魚ハ淡鹹水ノ混スル泥中ニ
 生長シ大廿五寸許ニ至ル迄ハ河或ハ海ニ游泳シ長スル
 ニ從ヒ全ク海中ニ棲息ス尚長シテ鰻ト稱スルニ至ラハ
 常ニ深處ニ在テ栖息ス○鯛ハ海岸ノ藻方言ツ及泥土ニ
 産卵シ孳化後進ンテ深キ處ニ移ル中以下調査ニヨ○海鰻

以下調査ニヨ

鯉ハ淡鹹水境之洲瀉或ハ磯邊海藻シ方ア中ニ生育ス○
光螺ハカ貝才ホノ貝ハ淡鹹水相接スル洲瀉ニ生ス○

第三款 有害物

魚島五六月頃讀備州間中モ海諸島ニ産卵シ之ヲ稱シ諸魚
魚島群来スルヲ以テ年中モ大瀝ノ代トシ之ヲ稱シ諸魚
魚島トハ季節鱸鯛魚ヲ渙スルニ際シ海馬来リ網中ニ入
云フ
リ其魚ヲ啗シナカラ海上ニ浮ラテアリルモ切ウテ捨セテ細
シ殘肉ハ再ヒ喰ハサルモノナラ食ヒ或ハ網ヲ啗ミ切り
去ル等渙業ヲ妨害スルト甚シク相シ以下全シ○水獺ハ夜
陰ニ乘シ手操網船ニ入り生間セシ養魚處ノフダテ板敷ヲキ
間稱上板十生ヲ除ケ養ヒタル大魚ヲ攫ミ去リ或ハ昼間
ト雖氏此害ヲナストアリ又其鯛魚ノ大ナルヲ取りタル
時ハ自カラ其鯛ノ背ニ乘リ海中ヲ游泳シ後ハ磯端ハ上
リ之ヲ喰フト云フ但シ近年ハ其害大ニ減セリト云フ○
十ノ魚ハ往々灣内群集ノ鰯鰯等ヲ逐ヒ散ラシテ渙獲ヲ
害スルトアリ○ウタセ網使用ニ際シ河豚魚来リテ其網

兵庫縣

第四章 漁民

第一節 營業ノ景況

相生村

本村漁業ノ景況ハ明治七年ノ頃迄ハ収利少ナカラス
 却テ陸産ニモ優ルノ有様ニシテ鱸鯖魚網ノ如キモ十
 二三疊ヲ使用シ其漁者凡六百人一疊ニ付凡四五モ
 下ヲラサレ程ナリキ其後ト雖氏尚數年間ハ相當ノ利
 益ヲ得タリシカ維新後諸山ノ樹林ヲ濫伐シ近年恰モ
 元山ノ如キ有様トナリテ樹陰ヲ損セシ為ノ諸魚ノ群
 来大ニ減シ加フルニ同十六年頃ヨリ一般ニ不漁ヲ来
 シ或ハ世上金融閉塞ノ為ノ魚價低落シ頗ル困弊ニ陷
 リ漁具ハ一時質屋ノ倉庫ニ充満スルノ有様ニ至リ故
 ニ鱸鯖魚網等モ大ニ減シ目下僅ニ四五疊ニ過キサレ景

系

況トナレリ
那波村 佐方村
従前ハ専漁者及漁船モ多數ナリシカ
近來ハ追々減
多ク農業ヲ本務トナスノ景況トナレリ

坂越村
ウタセ網漁業流行ニヨリ明治元年頃以來諸魚漸少減
耗セシ有様ナリ故ニ該初年頃ハ年々輸出金額凡七千
兩ニシテ平均一人ニ付十五兩有餘ナリシカ近年ハ凡
三分ノ二又漁戸ハ九三分ノ一
現今凡三減シ非常ノ衰
類ニ陥レリ

尾崎村
本村營業ノ景況ハ別ニ著シキ盛衰アラス
新濱村

本村ハ本郡ノ南端ニ在リテ播磨灘ニ突出シ二面ニ海
ヲ控エテ漁業ニ適セシ地勢ト云フヘシ本村漁民ノ爰
ニ營業スルモノ二三十年前ハ十四五名アリ其後網
或ハ章魚壺或ハ釣漁等ノ漁業ヲ営ムモノ凡五十余名
モアリテ十四五年前迄ハ相當ノ捕獲アリシカ近年
製塩用石炭焚滓ヲ海中ハ投棄セシ為メ大ニ海底ヲ荒
シ或ハ備前地方ヨリゴ子網クワリ網或ハウタセ網等ノ
漁業者群集シ漁業ヲ妨害スルノ多キヲ以テ漸次衰頽
ニ向ヘリ

中村
明治初年頃ハ一ヶ年收穫六千四百八十圓ニシテ一人
ニ付六十圓ニ相當セシカ近年世上不景氣ノ為メ漁業
ニ轉スルモノ甚ク多ク或ハ魚價低落ノ為メ全体ノ漁

業

額ハ稍増加セシモ之ノ人當ハ收得ハ却テ減少セシ有様ニシテ其割合ハ従前ノ五割ニ過キス漁民ノ衰頽甚シキニ至リ

赤穂上夜屋町 全加里屋町 營業大体ノ景況中村ニ全シ

折方村 本村營業ノ景況ハ別ニ著シキ盛衰ナシ郡内ニ般然以上各地ノ概況ヲ記述セリ尚左表ヲ掲ケ示郡内ニ般然状ヲ示スベシ

漁業概表

種別	曳網類 數量	建網類 數量
相生村	一七	〇
那波村	〇	〇
佐方村	〇	〇
坂越村	一八	〇
新濱村	六	〇
尾崎村	八	七五
中村	八	〇
赤穂高	〇	〇
赤穂屋町	〇	〇
折方村	〇	〇
合計	五七	七五

緑網類 數量	敷網類 數量	旋網類 數量	掩網類 數量	手釣類 數量	繩釣類 數量	叉釣類 數量
二八八	一三	四	五	八四	三〇	〇
〇	〇	〇	二	九	〇	二二
〇	〇	〇	一	〇	〇	〇
六七	七〇	三	九	一三三	〇	〇
六六	二	〇	四	三〇	二	〇
〇	一〇	一	四	〇	〇	〇
九一	〇	〇	五	〇	三〇	一八〇
〇	〇	〇	三	〇	〇	〇
〇	〇	〇	六	〇	〇	〇
〇	〇	〇	三	〇	〇	〇
三五二	九五	八	四二	二五六	三三二	二〇三

漁業者ノ種別左ノ如シ
 第二款 營業種別

種別	相生村	那波村	佐方村	坂越村	新濱村	尾崎村	中村	赤穂夜壽	赤穂昼壽	折方村	合計
鮎魚網漁者	三一〇			二五二	三二	一二	四〇				六六一
鮎魚網漁者	一三二			三二	四	二	四	六	一一二	一一二	一七六
鮎魚網漁者	一〇	二	一	九	四	四	四	六	一一二	一一二	六四
沙魚網漁者	一三										一一二
沙魚網漁者				五八							六一
鮎魚網漁者											六
鮎魚網漁者			五				四	六			五〇
海鯽釣漁者											七〇
海鯽釣漁者					二〇						二〇
海鯽釣漁者					三〇						三〇
合計	三一〇			二五二	三二	一二	四〇	六	一一二	一一二	六六一

Grid area with faint characters and numbers, possibly representing a detailed data set or a secondary table. The grid contains various numbers and some illegible characters, likely representing statistical data for different categories or locations mentioned in the text to the left.

雇夫自村	三三二
雇夫他村	八
備考	

資本主	仕込親	称	漁業	十	五	鯨	鯨	鰯	漁業		
為ノ出漁セントスルニ當リ豫シノ漁具或ハ食	料等ノ金ヲ貸付テ置キ捕獲アリタル片魚市場ノ	相場ヨリ一割ヲ減シテ買入レ以テ其償還ノ手續	ヲ十ノ例ナリ相生ニ村調	○漁者自ラ仕込ヲ為ス	能ハサレ者ニ不動産ヲ抵當ト為シテ現金ヲ貸	村シ一ヶ月三分ノ利子ヲ加ハ償還セシム	調坂越ニ村	雇夫	鯨	鰯	等ノ漁期中雇入ルモノニシテ人員ハ
九	五	十	六	人	乃	至	四	十	八		

不雇賃ハ概子収獲金三分一ヲ網主ニ二分ノ内ヨ

リ食料ヲ引キ残り金ヲ雇夫ニ分配ス雇夫執ル所ノ職ニヨリ左ノ名稱アリ相生ニ村調

船頭 他ノ漁者ヲ指揮シ漁業一切ヲ擔當シ網ノ構造ヲ掌ル

副船頭 合ヒ中ヲシト云フ船頭ヲ補助ス

平衡 網仕ト云フ船頭ノ指揮ヲ受ケ漁業一切ノ事ニ使役ス○雇役賃ハ物價ノ高低ニヨリ一定セ

サルモ概子船頭ハ一ヶ月三圓平働ハ二圓四十錢トス食料ハ雇主之ヲ給與ス而シテ捕獲ノ模様ニ

ヨリ添魚ト稱シ魚類若干ヲ雇人一同ニ與フルトアリ坂越ニ村調○本村ニ雇フモノハ村内漁者ノ他尚讀岐國仁井郡大島村等ノ者ニシテ年中使役ス

此毛入之ヲ年中雇取稱之然レ氏多クハ漁期即チ

毎年七月曆陰項雇上十二月曆陰項解雇之尾崎村調

...

...

...

...

...

...

...

...

兵庫縣漁業慣行録卷之十四終